

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

株式会社三幸産業本社工場

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目			評価点		重み係数		内 訳					
■ 1.「地球温暖化対策」の推進												
1.1 建物の熱負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 外壁:ALCt=100+グラスウール10kg品 t=50 屋根:デッキ裏岩面吹付けt=45+コンクリート+小屋裏天井面グラスウール10kg品 t=50	5.0	0.52	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	3	外皮性能		
	2.0	0.06										
	3.0	0.48	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制						
小計	4.0	0.03										
1.2 自然エネルギーの利用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.1	自然エネルギーの直接利用				
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.2	自然エネルギーの変換利用				
	2.0	0.06										
小計	3.0	0.15										
1.3 設備システムの高効率化												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	4.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化						
	2.0	0.06										
	2.0	0.06										
	2.0	0.06										
小計	4.0	0.22										
1.4 設備システムの効率的運用												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング				
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制				
	2.0	0.06										
小計	3.0	0.15										
1.5 資源・マテリアル対策												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ エコマーク商品を仕上げ材で2種類使用	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水				
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無		
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利用システム導入の有無		
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減				
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用				
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
	4.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用				
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材				
	4.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み				
小計	3.3	0.31										
1.6 ライフサイクルCO2排出率												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.6	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮						
	2.0	0.06										
	2.0	0.06										
小計	3.6	0.13										
1.「地球温暖化対策」の推進の評価			3.4	0.55								
■ 2.「ヒートアイランド対策」の推進												
2.1 温熱環境の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 緑地を前面道路側に設置ヒートアイランド対策とした。	2.0	0.52	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出						
	3.0	0.26	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上				
	2.0	0.22	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善				
小計	2.3	0.96										
2.2 交通負荷抑制												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 従業員用の駐輪場を設置、出入り口は交通車両が見通せる構造とした。	4.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制		
	2.0	0.06										
	2.0	0.06										
小計	4.0	0.04										
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価			2.3	0.17								
■ 3.「長寿命化対策」の推進												
3.1 耐用性の向上												
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.10	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	1	耐震性		
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	2	免進・制振性能		
	3.0	0.02	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数		
	3.0	0.80	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		
	4.0	0.01	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
	3.0	0.01	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		
	3.0	0.01	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		
	3.0	0.02	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔		
小計	3.0	0.91										
3.2 設備の更新性												
(コメント) ※設計の計画上添段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性		
	1.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給水配管の更新性		
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性		
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性		
	5.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性		
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペース		
小計	3.1	0.09										
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)			3.0	0.28								
■ 重点項目の総平均(上記3項目)			3.1									